

# 「緑の基本計画」策定後の取り組み

## 1. 取り組みのための組織づくり

市民と市民、市民と行政が協働し“花と緑と自然の都市・まちづくり”を円滑にすすめるためには、市民側、行政側それぞれの組織が常に連携できる体制づくりが必要です。

このため、緑の基本計画策定後、策定委員、策定懇話会委員を中心に、市民組織づくりを目指し、緑の基本計画推進懇話会を設置された。

この懇話会では、組織づくりに向け、「(市民が集まり、花や緑に関する話を自由に出来る場として)花とみどりの井戸端会議」の開催や「(生駒の緑の現状や市民活動の状況を見て頂くための見学会として)ふるさと生駒・花と緑と自然の発見ツアー」などが、実施されました。(資料6参照)

これらの企画を通じて、平成18年4月に市民が自ら運営する組織として「花好き・自然好き市民交流サロン」が設置されました。

一方で、市民の考え方と行政の考え方をつなぐ公的な機関の必要性を検討し、「緑の市民委員会」の設置に至りました。また、本委員会の設置により、懇話会は役割を終え、発展的解散となりました。

行政では、今日まで、市民との協働の花と緑と自然のまちづくりの必要性から積極的に、これら懇話会の取り組みを支援してきた。また、現在、市民サロンの運営についても支援しています。

## 2. 花好き・自然好き市民交流サロン

花好き・自然好き市民交流サロンとは、市内各地での花や緑や自然に関する取り組みのネットワーク化を図り、互いの情報交換などにより、取り組みを各地域から市内全域への広げ、市民による花と緑と自然のまちづくりを目指す組織で、現在のその活動として2ヶ月に一回発行の“サロン・ニュース”により、市民ネットワークの拡大を目指しています。(資料7参照)

### 「花好き・自然好き市民交流サロン」とは

- “花好き市民・自然好き市民”の地域、世代、得意分野を越えた交流や情報交換の場
- 『花と緑と自然のまちづくりグループ』が相互に交流する場
- 『花好き・自然好き市民』と『花と緑と自然のまちづくりグループ』が出会う場
- 新しい『花と緑と自然のまちづくりグループ』の立ちあげをお手伝いする場
- 誰もが『花好き・自然好き市民』になれる機会を提供する場
- 多くの市民が、楽しみながら“花と緑と自然のまちづくり”に関われるよう、お世話をする組織

(平成18年2月12日 「花とみどりの井戸端会議」会議録より)

【懇話会による組織づくりのフロー】



